

川崎市麻生区の田園調布学園大学

# 「第14回子供がつくる町ミニたまゆり」に参加しました

おとしより体験 de ゲームに挑戦～出役！へび&カエル！救え！シニアの戦士たち～

みなさん川崎市麻生区の田園調布学園大学で毎年行われるイベント「子どもがつくる町ミニたまゆり」をご存知ですか？地域の子も達と共に学園内に仮想の町をつくり、そこで子ども達も働いたり、お金を稼いだり、そのお金で税金を払ったり遊んだりする体験・参加型のイベントです。今年で14回目を迎える地域の子も達も主役のこのイベント、本年は2月10日11日の両日に開催されましたのでご存知の方も多いと思います。年々規模が膨らむと同時に市内の様々な団体・法人の協力や川崎市教育委員会との連携事業に進化し、3000人以上の来場者を集める大イベントに成長しています。この「BANANA NEWS 1月号」でもお知らせしたとおりバナナ園グループも今年からこのイベントに参加をさせて頂くことになりました。昨年末、実行委員の学生さんたちとの打ち合わせから「とにかく来場者を楽しみながら学んでもらえる斬新な企画を！」と宿題を頂きました。考えに考えた末、普段ゲームセンターなどで目にすることもある「太鼓の達人」「ワニワニパニック」「ハンマーフック」等のゲームマシンを多数導入し、ご利用者＜高齢者＞が楽しめる環境づくりと「リハビリテーション」に活用している横浜のデイサービスセンター「かいかや」様にご協力をお願いし、この中から「どきどきへび退治Ⅱ」＜座って、出てきたへびを足で踏んで下肢筋と脳のトレーニング＞「ハンマーフック」＜LEDの光を合図にリズムよくカエルが出現、モグラ叩きの要領で出てきたカエルを叩きます＞の二つのゲームマシンを会場に持ち込むことになりました。実際に「かいかや」ではこのゲームマシンを楽しみながらリハビリに利用し歩行の改善や転倒予防に繋げており、90歳を超えて「どきどきへび退治Ⅱ」では84歳の方が252点、「ハンマーフック」では90歳の方が173点の最高得点を叩きだしているといわれています。今回は子供たちにハンディキャップとして高齢者疑似体験グッズ「つくし君」を装着してゲームにチャレンジしてもらおう『おとしより体験 de ゲームに挑戦』～出役！へび&カエル！救え！シニアの戦士たち～として参加させて頂くことになりました。参加のこどもたちには「つくし君」を装着、手首＜足首＞にウエイト、肘＜膝＞にはサポーター、重りを入れたリュックをお腹側に担いだ上、更にモグが霞んで見えるメガネをかけ、80歳のお年寄りになりきりゲームをします。2月11日のイベント当日は事前予約で申し込みのあった小学校1年生～6年生30人を10人づつ3回に分けて『おとしより体験 de ゲームに挑戦』を実施しました。本番前に「つくし君」を装着せずにゲームにトライした児童は自信ありげな表情でしたが、「つくし君」を装着すると「歩くのも腕を上げるのも大変だ！」「このメガネをかけるとよく見えないよ！ムリムリ。」の声。いよいよゲームがスタートすると「ガンバレ～」「もつとはやくう」「へびはこつちだよ」と歓声が響きます。大きな盛り上がりの中全員がゲームを終えると最高得点は「どきどきへび退治Ⅱ」ではくせなちゃん＞が177点、「ハンマーフック」ではくにこちゃん＞が152点を記録、残念ながら「ハンマーフック」ではデイサービスセンターのご利用者にはかなわなかったものの大健闘！しかし、子供たちは一様に「超つかれたよ!! おじいちゃんおばあちゃんたちは不便だね、ゆっくり歩いたり、杖を使ったりするのがわかったよ。」「目が不自由だとゲームもたいへんだけど車でキップを買ったり、信号を見るのもたいへんだね。」と納得の様子。特別ゲストでゲームに参加した父兄で介護職をされているM様からは「しっかりリハビリをすれば良くなるのに、辛いので長続きせず機能回復を諦める高齢者は多いものですが、スコアが出てくるゲームだと楽しみながらリハビリが出来ますね。良い発見になりました。」と話されていました。最後に修了証書とたくさんのお土産をプレゼント、子供たちには楽しい思い出・体験になったと思います。「ミニたまゆり」初参加でしたが上バナナ園グループの担当者は「来年はもっと沢山の子ども達に参加してもらえるように工夫し、イベントを盛り上げたい」と話していました。

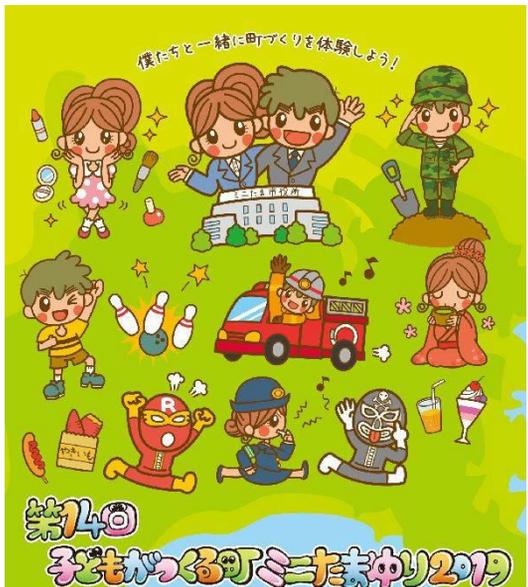


高齢者疑似体験「つくし君」を装着して「ハンマーフック」(左)＜「どきどきへび退治Ⅱ」(右)＞に挑戦するキッズたち。ウエイトにサポーター、眼鏡をかけて80歳の高齢者になりきりました。やはり思ったようにはいきません。



↑田園調布学園大学(DCU)は、人間福祉学部と子ども未来学部の2学部から成る福祉の専科大学。社会福祉学科、心理福祉学科、子ども未来学科の3学科を設置。右は「つくし君」装着のイラスト。

2005年に酒井教授のゼミナール活動の一環でその年の学園祭より、ドイツのミュンヘン市で開催されていた「ミニ・ミュンヘン」の活動に触発され、開始。学生が利用する新百合ヶ丘駅とたまプラーザ駅の「ゆり」と「たま」に「ミニ・ミュンヘン」の「ミニ」を付けて「ミニたまゆり」になったという



↑ミニたまゆりの市役所。何でも相談に乗ってくれる。「ユリ」のお札⇒仕事をしたお給料はミニたまゆりで使える「ユリ」で貰える。税金を払い残った「ユリ」で食べたり、遊んだり、今から貯金も出来る仕組みも導入。



ミニたまゆりの街をパトロール、警察官は「人助けの仕事」に分類されます(上)。私たちのブースにTVカメラを持って取材が入りました！ディレクターもカメラマンも子供達には人気の職業(左上)勿論映像は校内でパブリックされます。食堂もこどもたちによって運営、メニューを食べるにはユリで支払います(左下)。

## 川崎市中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」より お誕生日は手作り料理で

川崎市中原区のグループホーム「バナナ園ほりうち家」では極寒の2月はイベント目白押しの一と月になりました。2日はご入居者M様の74歳のお誕生日会、3日は節分、14日はバレンタイン、15日はご入居者H様91歳のお誕生日会、どれも普段と違った事をしなければならぬのでスタッフもてんやわんや、今回は2日のM様のお誕生日の様子をご紹介します。誕生日は年齢を祝うことがメインですが、「バナナ園ほりうち家」ではお祝いされるほうも、するほうも全員が楽しめる内容を考えます。毎月のことだと、誕生日会ならではの驚きや感動は薄れてしまいそうですが、なんとか喜んでもらいたいというのは、私たちスタッフの共通の想いです。そこで、この施設ではお誕生日会は、ご入居者ご本人の食べたいものをスタッフと施設入居者全員で作って食べていただくことにしています。M様のご希望は「手作り料理と手作りケーキを皆で楽しく食べたい!」というもの。スタッフ、ご入居者の皆で考え「バナナ園ほりうち家特製カレー」と「特製手作りのリンゴのホール入りイゴのデコレーションケーキ」作りに挑戦することになりました。カレーはスタッフとお料理作りが得意なご入居者S様の指導の下、カレーから丹念に作ることにしました。薄切りにした玉ねぎとにんにくを油の入った鍋で炒め色になるまで炒めじっくり煮込み、様々な香辛料を微妙なさじ加減で加えコトコト煮込んで作ります。ケーキは調理のお仕事に長年従事なさってきたT様の指示のもとキッチンに集合しましたが問題は「リンゴのホール」です。ホールとはフランス料理で「フランクで焼く料理」ですが今回は「ホール風煮リンゴ」にすることにしました。皮を剥いたリンゴをほんの少しのお水＜呼び水＞を加え鍋でコトコト煮つけます。もちろん火加減注意!!ひたすらリンゴを見守り続ける事1時間40分、今回砂糖は一切使用せずメープルシロップでリンゴを鍋にひたひたにして香りづけのお酒とシモンパウダーを入れて出来上がり。イゴと特製生クリームたっぷりのデコレーションケーキに「ホール風煮リンゴ」を盛り付けると、プロのパティシエとはいきませんがなかなかの出来栄。苦勞の甲斐あって、ご入居者様やご招待したご家族にも大好評でした。カレーとケーキをペロリとたいらげたM様は本当に満足そうでした。パーティが終わると「来月は誰の誕生日だったか?」早々と次回のお楽しみ会の話で盛り上がり、笑顔の1日が終わりました。



お待ちかねの特製デコレーションケーキが出来上がりました!!特製カレーで満腹のはずなのにいくつになっても「甘いものは別腹」全員完食!

## 川崎市中原区のグループホーム「のんびりーす等々力」より 平成最後の初詣は氏神さま関神社参り

中原区下小田中のグループホーム「のんびりーす等々力」では初詣は極寒の時期ということもありご入居者数名とスタッフが代表して下小田中地域の氏神様である関神社に行くのが恒例ですが、平成最後という事もあり大晦日から「来年は全員でお参りに出かけましょう」というお約束。年が明け元旦、皆で「明けましておめでとうございます」のご挨拶と、新年を迎えられたことに感謝。それぞれどんな思いを巡らせたのでしょうか?少し早めの昼食は職員手作りの「おせち料理」に舌鼓。味に厳しい?皆さんですが、あっという間に召し上がり「美味しいですよ!」とお褒めの言葉をいただきました。職員も数日前から材料を仕込んでいたので、作った甲斐がありました。お昼過ぎには皆様ワクワク、ワクワクされている様子です、皆でテレビの正月特番を観ていると誰ともなく「初詣にいかんとなあ」の一言。「そうさそうさ早く行かなくっちゃ!」「外は寒いから上着を着て行こうかしら」と皆さん楽しそうに支度をし始めました。関神社は高齢者の足では往復30分以上の場所にあり、しかも神社の中には石段や段差もあることから、普段歩かれている方にも、念のため車いすを用意して出かけることに。元旦は決まって日本晴れ足取りも軽くなります。神社に向かう道すがら近所の介護施設の方達に出会い「明けましておめでとうございます」の挨拶から他愛もない会話に花が咲くのもお正月だからこそ。ぶらぶらと歩いて20分、氏神様の関神社に到着。さて、関神社の起こりは、1605年原勘解由左衛門勝久がこの地に移住し、当地を開墾しようとしてもなかなか進まなかったため、日頃信仰している関蟬丸神社にお祈りをしたところ「夜ここに祀ればうまくいく」と霊示され、社殿を立てて祀るとこの地の開墾が進んだと言われています。元旦の関神社は大勢の地元参拝者で賑わっていました。入居者様もお一人ずつお参り。お賽銭をなげ、手を合わせて神妙にお願いごとをしています。「何をお祈りしましたか?」「自宅に帰れますように」「息子が結婚しますように」などなど、皆様願いは人それぞれ。「平成も今年で最後、お参りできて嬉しいね」「また来年も来たいね」と満足されている様子で一安心。スタッフも皆さんの益々の健康と長寿をお祈りしました。施設に戻り「甘酒」をいただき身も心も「ホッ!」になっていると、立て続けに入居者様ご家族がお迎えにみえ、さっそく「願いが叶った」方も。嬉しそうな入居者様をみて私たちスタッフも心があたたまる平成最後の元旦になりました。



熱心にお参り「何をお祈りされましたか?」「来年の元旦もお参りできますように」～気の早い入居者A様でした。



## バナナ園グループで働きステップ・アップをしませんか? 介護スタッフ募集中

★介護は7ヶ月～未経験だからこそその7ヶ月が必要ですよ!

### ■募集要項

★職種:ケア・スタッフ<①正社員/②非常勤職員>★無資格・未経験からスタート/年齢不問

★給与:① 月給:193,000円～<夜勤5日含む>

② 時給1020<無資格>～1170円<介護福祉士>処遇改善加算交付金含  
※夜勤1回15,000～16,000円

★時間:9:00～17:00 17:00～翌9:00

★待遇:社保・有休・交通費規定内支給:月額50,000円迄

★勤務場所:当社各施設10箇所の中から通勤しやすい場所を選べます。

●問合せ:(株)アイ・ディ・エス 採用担当まで

☎044-455-6117

2019年3月新卒社員募集中

会社説明会随時開催中

エントリーはこちらから→



リナビ 2019  
powered by Decourt

マイナビ 2019



## バナナ園グループ

【グループホーム】

- 川崎大師バナナ園 ☎044-280-2386 ●第2バナナ園 ☎044-587-1773
- バナナ園武蔵小杉 ☎044-863-7101 ●バナナ園ほりうち家 ☎044-722-5361
- のんびりーす等々力 ☎044-750-9203 ●のんびりーす ☎044-422-2295
- バナナ園生田ヒルズ ☎044-911-1599 ●バナナ園生田の杜 ☎044-789-5691/5692
- バナナ園生田の泉 ☎044-789-5693 ●バナナ園横浜山手 ☎045-264-9634



## グループホーム空室情報

空室情報、入居に関するお問い合わせは右記の各施設もしくは総合案内

044-455-6119



月刊 MONTHLY BANANA NEWS (毎月1日発行)

通算第171号 編集:株式会社アイ・ディ・エス

川崎市中原区新丸子町734-2 ☎044-455-6119

<HP> <http://www.bananaen.com/>